

台東育英

VOL. 21

No. 3

台東区立台東育英小学校

校長 瀬下 清

<http://www.taitocity.net/taidouikuei-s/>

大切な小学生の時期に

校長 瀬下 清

雨に映える紫陽花の花も美しく、爽やかな季節となりました。
今年の梅雨入りは、記録的な早さだそうです。

さて、新年度より二ヶ月間が過ぎ、本校の教育活動も保護者や地域の皆様のご理解とご協力をいただき、様々な状況に対応しながら進んできております。先日には、暑いぐらいの日差しの中で、校外運動日として、全学年で体力テストを行いました。どの児童も自分の体力を知るために、もてる力を出し切りながら、走ったり、跳んだり、投げたりする姿には、逞しさを感じました。体力の向上とは、病気にかかりづらい強い体や、様々なストレスにも耐えられる強いメンタルを備え、育成することをいいます。小学生の時期には、友達と一緒に体を動かし遊ぶことが、強い体と心を育成する体力向上に最も有効であるといわれています。引き続き、学校生活の中で、そうした機会を積極的につくっていきたいと思います。

さらに、この時期に大切にしてほしいことは、ご家庭での親子のスキンシップです。近年、親子の触れ合いの効果や子供の成長に及ぼす影響が科学的に探求されています。ここ10年ほどで特に注目されているのが脳内物質「オキシトシン」です。「愛情ホルモン」とも呼ばれる物質で、親子がリラックスをし、肌を触れあうことにより、双方の脳内に分泌されるものです。「オキシトシン」の効果は、子供の記憶力をよくして学習効果を高めたり、ストレス耐性を強めたりする効果があります。その後の脳の成長や能力、性格などに大きな影響を及ぼしていきます。具体的なスキンシップは、喜んだときに手や背中への軽いタッチ、膝に乗せる、褒めるときに頭をなでるなどがあります。

この触れ合いの時期、親子で共に歩む時間は、あっという間に過ぎ去ってしまうものです。そのことを多くの大人が後になって気付きます。子供と共に過ごせる、今というかけがえのない時間をぜひ大事にしてほしいと思います。

校外運動日

副校長 原 之雄

さわやかな初夏の季節となりました。新学期が始まり 2 ヶ月が過ぎました。1 年生も学校生活にすっかり慣れ、毎日を楽しんでいます。

校外運動日が 5 月 14 日にあり、今年は、校庭や体育館の他、旧柳北小学校の屋上をお借りしてスポーツテストを行いました。どの学年の児童も昨年度の記録を上回ろうと張り切っていました。1 年生にとっては、初めてのスポーツテスト、シャトルランや反復横とびなど初めての種目で難しかったこともあったと思いますが、そこは台東育英小学校の子どもたち。ペア学年の 6 年生が手をとって優しく教えてあげる姿がありました。

体育の時間だけでなく、普段の生活の中でたくさん体を動かす運動好きの子どもたちになるようこれからも取り組んでいきます。



本の世界を楽しもう

図書担当 後藤 ひとみ

小学校時代の私は、教室で静かに本を読むよりも、外に出てたくさんの汗を流すほうが好きな子供でした。しかし、司書さんや、当時の担任の先生が読み聞かせをしてくれた時間は、とても好きだったことを覚えています。

今は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、外出したくてもなかなか出かけられない毎日が続いています。そんな時だからこそ、ぜひご家庭で本の世界を楽しんでほしいと思います。

読書が与える良い影響の一つとして、想像力が磨かれる、と言われていています。読書を通して、文字情報から想像を膨らませたり、考えを構築したりする力が身に付くそうです。想像力が磨かれるということは、相手の気持ちを想像できる優しい子が育つことにもつながると思います。台東育英小学校の子どもたちには、そんな優しい心をもつ子どもたちに育ててほしいと願っています。

6 月 7 日から 3 週間、読書旬間があります。今回の読書旬間では、図書委員会の児童が低学年の子どもたちに読み聞かせをしてくれる予定です。読書旬間は、子供がより多くの本と出会うよい機会です。ぜひご家庭でもテレビを消し、本の世界に浸る時間を作って楽しんでいただけたら幸いです。ご協力よろしくをお願いします。

読書旬間 6月7日(月)～6月25日(金)



6年生が取り組んでいること

6年担任 赤堀美喜夫 小山知美

最高学年として2ヶ月が経ちます。1年生の登校にあわせて、1年生の教室で朝の支度の手伝いをしたり、給食を早めにいただいて、給食の片付けを手伝ったり、掃除の時間には1年生に掃除の仕方を教えたりしてきました。縦割り班の1年生とのペアも決まり、縦割り班活動に向けての準備もしています。また、毎日の国旗、校旗の揚げ降ろし、全校朝会（放送朝会）での代表挨拶も6年生の担当です。その上、クラブの部長や委員会の委員長など、最高学年になり、今までと違った仕事が増え、忙しく過ごしていますが、それを前向きに楽しみながら取り組んでいる姿も見られて、頼もしく思っています。

先月の校外運動日を始まりとして、体育の時間に1年生の体力テストの手伝いをしました。1年生を励ましながら、優しく見守る6年生に、改めて大きな成長を感じました。

学習面では、百人一首にも取り組んでいます。「秋の田の かりほの庵（いほ）の 苔（とま）をあらみ わが衣手（ころも）は 露にぬれつつ（天智天皇）」大化の改新で活躍した中大兄皇子が後の天智天皇となり、詠んだものです。百人一首には、歴史上重要な人物も登場しています。暗誦しながら、歴史的なものにも関心を抱いていってほしいと願っています。

台東育英小学校を引っ張っていく6年生に、応援をよろしく願っています。

活動することの大切さ

2年担任 栗原和恵 小玉祥史 渡邊香織

2年生になって2ヶ月が過ぎました。子供たちは、新しい教室にも慣れ、毎日元気いっぱいにご過ごしています。生活科の学習は、他教科に比べてより自分たちの生活に関わりが深く、体験的な学びを得る機会が多く設定されています。

「1年生に学校を案内しよう」の学習では、普段使用する機会の少ない理科室、家庭科室などの特別教室や、主事室や事務室の職員と交流を図りながら調べる中で、自分たちの学校生活はたくさんの人に支えられて成り立っていることに気付きました。学校たんけん当日は、自分たちが調べた内容を紹介するだけでなく、1年生に優しく声をかけたり、歩く速さを合わせたりにしていました。まだまだ小さいと思っていた子供たちですが、1年生のために活動している様子から、台東育英小学校の先輩の自覚をもった、たくましい姿が見られました。

「夏野菜を育てよう」の学習では、一人一鉢ずつミニトマトの苗を植えました。また、学校のプランターには、グループごとにピーマン、カラーピーマン、きゅうり、なす、オクラも育てています。普段食べている野菜の苗や種を見て、「これから野菜ができるの」という驚きや、「たくさんとれるといいな」など、野菜の収穫を楽しみにしながら、毎日水やりのお世話をしています。栽培活動を通して、植物に愛着をもつことや、身近な植物には生命があることに気付くこと、野菜の成長する様子で気付いたことを表現する力を育てていきたいと考えています。命を育てる楽しさと大変さを味わいながら、責任をもって育ててほしいと思っています。

6月1日（火）から、衣替えです。校帽を白い帽子に変えて登校しましょう。